

## ホームページにおける政府統計公表予定掲載規準

各府省のホームページに掲載する政府統計の公表予定（公表後は公表日及び公表実績。以下同じ。）は、「統計に係るホームページの共通メニュー及び共通掲載項目」（2006年（平成18年）3月31日各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）のほか、本規準に基づくものとする。

## I. 総則

各府省は、本規準に定める事項に基づき、作成する統計の公表予定を公表予定日の3か月前までを目途に自府省のホームページに掲載し、実際の公表日まで、変更の都度更新するものとする。

公表予定に係る情報を記録するファイル（以下「公表予定掲載ファイル」という。）は、W3C（The World Wide Web Consortium）勧告のXMLバージョン1.0に準拠するXML形式で作成し、当該ファイルのインターネット上の所在箇所を所要の手續に基づき政府統計の総合窓口（e-Stat）に登録するとともに、各府省のホームページにおいて、スタイルシート（XSLT（Extensible Stylesheet Language Transformations）文書）を用いて提供するものとする。

なお、公表予定掲載ファイルは、公表後少なくとも3か月間、上記の各府省が政府統計の総合窓口（e-Stat）に登録した所在箇所に保管するものとする。また、公表予定掲載ファイルに掲載する公表予定に係る情報は、政府統計の総合窓口（e-Stat）において定期的に自動収集し、これらを加工及び調製の上、政府統計に係る公表予定の一覧その他公表予定の検索機能を政府統計の総合窓口（e-Stat）において提供するものとする。

## II. 公表予定掲載ファイルの名称規則

公表予定掲載ファイルの名称は、「e-stat\_」（半角文字（大文字・小文字は問わない。））を冒頭に用い、それ以降の文字列は、各府省が定める任意のものとする。また、ファイルの拡張子は、「.xml」とする。

【例】 e-stat\_国勢調査.xml

## III. 公表予定掲載ファイルの記法

公表予定掲載ファイルは、XML宣言、スタイルシート適用記述及びXML要素により構成し、それぞれ次に掲げる記法に準拠して記述するものとする。

## 1. XML宣言

XML宣言は、当該文書がXML文書であることを示す。

XML宣言は、必ず文書の先頭に記述し、その前に改行や空白その他の文字

及び文字列を挿入してはならない。

【記述例】 `<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>`

## 2. スタイルシート適用記述

スタイルシート適用記述は、当該XML文書のスタイルシートの形式及びファイル名を示す。

【記述例】 `<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="e-stat_pop.xsl" ?>`

## 3. XML要素

XML要素は、当該XML文書の対象とする政府統計及び公表予定並びに公表実績に係る各種情報を示す。

### (1) ルートタグ

XML宣言とスタイルシート適用記述を除く全体をルートタグで囲む。

【タグ】 `<e-stat>`

【記述形式】

```
<e-stat>
  <!--政府統計コードタグセットを囲む-->
</e-stat>
```

### (2) 政府統計コードタグ

当該XML文書において公表対象とする政府統計のコード及び名称を属性として記述する。政府統計コードを半角数字で id 属性に、名称を全角文字で name 属性にそれぞれ記述する。名称は必ずしも政府統計コードに対応する正式名称でなくともよく、実施年等を含めた公表上用いる通称で記述する。

なお、同一のXML文書内で複数の政府統計に係る公表日情報を記述する場合は、ルートタグで囲む範囲内に、政府統計コードタグの開始と終了を繰り返すものとする。

【タグ】 `<os_code id="" name="">`

【記述形式】

```
<os_code id="" name="">
  <!--公表分類タグセットを囲む-->
</os_code>
```

【記述例】 `<os_code id="00200330" name="平成17年国勢調査">`

### (3) 公表分類タグセット

当該XML文書において公表対象とする政府統計の集計区分等の公表分類について、公表分類1(class\_1)から公表分類5(class\_5)までのタグの階層により記述する。各公表分類の名称は、各タグのname属性に記述する。下位の階層となる公表分類が存在しない場合は、当該分類に係るタグを省略し、又はname属性の記述を省略することができる。

同一のXML文書内で、同一の政府統計に関して複数の分類に係る公表予定日情報を記述する場合は、政府統計コードタグで囲まれた中に、分類タグセットを繰り返して記述する。

【タグ】 <class\_? name=""> ※ ? = 1, 2, 3, 4, 5 (半角数字)

【記述形式】

```
<class_1 name="">
  <class_2 name=""></class_2>
  <class_3 name=""></class_3>
  <class_4 name=""></class_4>
  <class_5 name=""></class_5>
  <!--公表情報タグセットを囲む-->
</class_1>
```

【記述例】 <class\_1 name="第1次基本集計">

<class\_2 name="全国">

<class\_3 name=""> ※ 省略可

<class\_4 name=""> ※ 省略可

<class\_5 name=""> ※ 省略可

### (4) 公表情報タグセット

当該XML文書において公表対象とする政府統計の各公表分類に係る公表予定(公表日以降は公表日)及び公表実績を以下に基づく公表予定タグセット及び公表実績タグセットにより記述する。

#### (4-1) 公表予定タグセット

公表対象とする政府統計の各公表分類に係る公表予定年月日を次に掲げる3つのタグにより年、月、日に分けて記述し、実際の公表日まで変更が発生する都度、更新する。なお、年は西暦表記とする。

なお、公表予定年及び公表予定月の各タグは省略することができず、公表予定日のタグは、公表月を特定でき、かつ、具体的な日付を特定できな

い場合は、省略することができる。

【記述形式】

```
<release_year> </release_year>
<release_month> </release_month>
<release_day> </release_day>
```

① 公表年

公表予定年月日の年部分を示す。

【タグ】 <release\_year>

【記述例】 <release\_year>2005</release\_year>

② 公表月

公表予定年月日の月部分を示す。

【タグ】 <release\_month>

【記述例】 <release\_month>4</release\_month>

③ 公表日

公表予定年月日の日部分を示す。具体的な日付のほか、「上旬」、「中旬」、「下旬」、「末」及び「頃」の文字又は文字列を記述することができる。

【タグ】 <release\_day>

【記述例】

ア 公表予定日を特定できる場合及び公表日を迎えた場合

<release\_day>1</release\_day> ※例 2005年4月1日

イ 公表予定日が特定できる段階になく、公表月の上・中・下旬又は月末を示す場合

<release\_day>上旬</release\_day> ※例 2005年4月上旬

<release\_day>中旬</release\_day> ※例 2005年4月中旬

<release\_day>下旬</release\_day> ※例 2005年4月下旬

<release\_day>末</release\_day> ※例 2005年4月末

ウ 公表日が特定できる段階になく、公表月についても一定の変動幅があることを示したい場合

<release\_day>頃</release\_day> ※例 2005年4月頃

(4-2) 公表実績タグセット

公表対象とする政府統計の各公表分類に係る公表実績（提供実績）を以下に基づく官報情報タグセット、インターネット情報タグセット、刊行物情報タグセット及び閲覧情報タグセットにより記述する。基幹統計については原則として、その他の統計については可能な限り公表実績タグセットを記述するものとする。

#### (4-2-1) 官報情報タグセット

官報に公表内容を掲載した場合に官報告示番号及び官報告示年月日を次に掲げるタグにより記述する。官報に公表内容を掲載しない又は掲載していない場合は、当該タグセットを省略することができる。

##### 【記述形式】

```
<kokuji_number> </kokuji_number>
<kokuji_year> </kokuji_year>
<kokuji_month> </kokuji_month>
<kokuji_day> </kokuji_day>
```

##### ① 官報告示番号

【タグ】 <kokuji\_number>

【記述例】 <kokuji\_number>総務省告示第1号</kokuji\_number>

##### ② 官報告示年

官報告示年月日の年部分を示す。

【タグ】 <kokuji\_year>

【記述例】 <kokuji\_year>2005</kokuji\_year>

##### ③ 官報告示月

官報告示年月日の月部分を示す。

【タグ】 <kokuji\_month>

【記述例】 <kokuji\_month>4</kokuji\_month>

##### ④ 官報告示日

官報告示年月日の日部分を示す。

【タグ】 <kokuji\_day>

【記述例】 <kokuji\_day>10</kokuji\_day>

#### (4-2-2) インターネット情報タグセット

インターネット（各府省のホームページ）に公表内容を掲載した場合、

当該統計の公表分類に係る統計表一覧のURL（Uniform Resource Locators）及びインターネットへの掲載年月日を次に掲げるタグにより記述する。

**【記述形式】**

```
<internet_url> </internet_url>
<internet_year> </internet_year>
<internet_month> </internet_month>
<internet_day> </internet_day>
```

① URL

インターネットで提供する当該統計の公表分類に係る統計表一覧のURLを示す。インターネットで提供していない場合は、当該タグセットを省略することができる。

**【タグ】** <internet\_url>

**【記述例】** <internet\_url>http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2000/kihon1/00/hyodai.htm</internet\_url>

② 掲載年

インターネットでの掲載年月日の年部分を示す。

**【タグ】** <internet\_year>

**【記述例】** <internet\_year>2005</internet\_year>

③ 掲載月

インターネットでの掲載年月日の年部分を示す。

**【タグ】** <internet\_month>

**【記述例】** <internet\_month>4</internet\_month>

④ 掲載日

インターネットでの掲載年月日の日部分を示す。

**【タグ】** <internet\_day>

**【記述例】** <internet\_day>1</internet\_day>

(4-2-3) 刊行物情報タグセット

刊行物を発行した場合、当該刊行物の名称及び発行年月日を次に掲げるタグにより記述する。刊行物を発行しない又は発行していない場合は、当該タグセットを省略することができる。

**【記述形式】**

```
<publication_name> </publication_name>
<publication_year> </publication_year>
<publication_month> </publication_month>
<publication_day> </publication_day>
```

① 刊行物名称

発行した刊行物の名称を示す。

【タグ】 <publication\_name>

【記述例】 <publication\_name>全国都道府県市区町村別人口及び世帯数（確定数）第一巻 人口総数</publication\_name>

② 発行年

発行年月日の年部分を示す。

【タグ】 <publication\_year>

【記述例】 <publication\_year>2005</publication\_year>

③ 発行月

発行年月日の月部分を示す。

【タグ】 <publication\_month>

【記述例】 <publication\_month>10</publication\_month>

④ 発行日

発行年月日の日部分を示す。

【タグ】 <publication\_day>

【記述例】 <publication\_day>25</publication\_day>

(4-2-4) 閲覧情報タグセット

閲覧に供する場合、閲覧場所並びに閲覧期間を次に掲げるタグにより記述する。閲覧に供しない又は閲覧に供していない場合は、当該タグセットを省略することができる。

【記述形式】

```
<viewing_place> </viewing_place>
<viewing_period> </viewing_period>
```

① 閲覧場所

閲覧の場所を示す。

【タグ】 <viewing\_place>

【記述例】 <viewing\_place>総務省統計図書館</viewing\_place>

② 閲覧期間

閲覧の期間を示す。

【タグ】 <viewing\_period>

【記述例】 <viewing\_period>2005年4月25日以降</viewing\_period>

4. XML要素の階層図

